



Web Fairy Paradise

第48号

今月のフェアリー詰将棋

- ・ 第 42 回 WFP フェアリー作品展 (再掲)
- ・ 第 43 回 WFP フェアリー作品展 (再掲)
- ・ 第 56 回 推理将棋出題
- ・ JIGSAW BOX #07

結果発表

- ・ 第 42 回 WFP フェアリー作品展
- ・ 第 55 回 推理将棋出題
- ・ 第 12 回 詰四会 フェアリー作品展
- ・

読み物

- ・ 功績賞 (仮) (神無太郎)
- ・ フェアリー詰将棋作ったー (たくぼん)



2012/6

はじめに

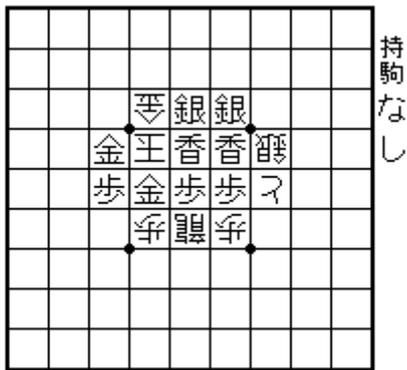


5月21日に本州では129年ぶりという金環日食を見ることが出来ました。当日は生憎の曇り空で半ば諦めていたのですが、何とか雲の合間から見ることが出来ました。以前の皆既日食も同じような状況で見ることが出来ましたが、運がいいのか悪いのかよく分からない感じです。専用グラスを準備していなかったことを考えれば曇りで肉眼で見られたことは運が良かったといえるかもしれませんね。

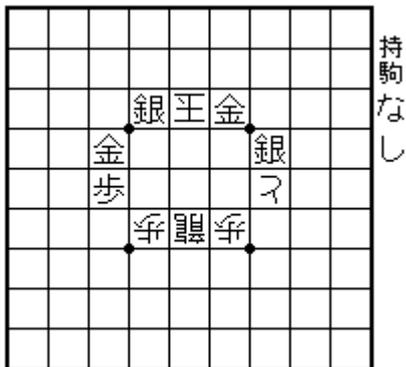
で日記にも載せましたが金環日食にちなんだ作品を創りました。

たくぼん作

強欲協力詰 14手(受先)「金環日食」



詰上図



初形の醜さには目を瞑りつつ手順はお考え下さい。

【募集】

作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことも研究物でも4コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト10、自己紹介、何でもOKです。

感想

第48号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん : takuji@dokidoki.ne.jp

協力いただいている方々のHPアドレス

*ご協力感謝します

妖精都市

<http://www.geocities.jp/cavesfairy/>

詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

Onsite Fairy Mate

<http://www.abz.jp/~k7ro/>

K.Komine's Home Page

<http://19900504.web.fc2.com/index.html>

イラスト・素材提供 : 幻想素材サイト First Moon

<http://www.first-moon.com/>

*表紙のイラストを使用させて頂いております。

第42回WFP作品展Bコース（42B-3、42B-4、42B-4'）再出題 担当：神無七郎

第42回WFP作品展のうち、解答者ゼロとなった42B-3、42B-4、42B-4'の3題について、改めて解答募集します。

難度は高いと思いますが、解答者諸氏の奮起を期待します。

解答要項

解答締切：2012年7月15日（日）

宛先：janacek789@ybb.ne.jp

メールの件名に「解答」の語句を入れてください。

ルール説明

【協力自玉スタイルメイト】

先後協力して最短手数で攻方をスタイルメイト（王手は掛かっているが合法手のない状態）にする。

【(K)マドラシ】

同種の敵駒が互いの利きに入ると、利きがなくなる。玉も互いの利きに入ることができ、互いの玉の利きがなくなるものを「Kマドラシ」と呼ぶ。

生駒と成駒は別種の駒として区別する。

【持駒：∞】

指定駒を無限に持っていることを示す。指定が特でない場合は、全種類の駒を無限に持っていることを示す。

【推理将棋】

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元する。

■ 42B-3 神無太郎氏作

命名『矢絰Ⅱ』

Kマドラシ協力自玉スタイルメイト52手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
								王	三
									四
									五
									六
王									七
									八
									九

攻方持駒桂25

受方持駒∞

■ 42B-4 一乗谷酔象氏作

推理将棋『狭い所で長期戦』

「昨日、奇妙な将棋を見たよ。金の手を指した2手目以降の着手は四カ所だけ、それも縦2マス横2マス、ある2×2の範囲内だけだった」

「へえ、それは珍しい。そんな狭い所だと、すぐに決着がついたんだろうね」

「いや、狭い所でも激しい攻防が長く続いたよ。駒を打った場所は1カ所だけだったけど、駒を打った2手後は必ず、駒打ちのあった場所の隣の筋に着手していたね」

「へえ、何手で詰んだの」

「たしか63手目に駒を打って詰みだったよ」

「そりゃすごい。でも、千日手模様じゃなかったかい？」

「いや、先手の着手の棋譜はダブってはいなかったし、同一局面もなかったよ」

条件：

- 1) 63手目に駒を打って詰んだ
- 2) 2手目は金
- 3) 2手目以降はある2×2の範囲内の四カ所の着手のみ
- 4) 駒を打った場所は1カ所だけ
- 5) 駒を打った2手後は必ず、駒打ち場所の隣の筋に着手
- 6) 先手の着手に（棋譜表記上）重複なく、同一局面もなし

■ 42B-4' 一乗谷酔象氏作

上記問題のうち、以下の3条件のみを満たす、71手以上の解を求めてください。

条件：

- 1) 2手目以降はある2×2の範囲内の四カ所の着手のみ
- 2) 駒を打った場所は1カ所だけ
- 3) 先手の着手に（棋譜表記上）重複なく、同一局面もなし

☆71手より長手順の解は超正解として加点します。最長手数の解は更に加点します。

以上

解答締切：2012年8月15日(水)

■ 43B-1 神無太郎氏作

安南協力自玉スタイルメイト 12手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
									歩	二
							王			三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 飛2 桂4

■ 43B-2 神無太郎氏作

安南協力自玉スタイルメイト 14手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
						金		王		八
									王	九

持駒 飛2 香4

■ 43B-3 変寝夢氏作

対面協力自玉スタイルメイト 12手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
							王			三
										四
										五
										六
										七
										八
									王	九

持駒 桂4

■ 43B-4 変寝夢氏作

対面協力自玉スタイルメイト 12手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
							王			三
									王	四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 桂4

■ 43B-5 変寝夢氏作

対面協力自玉スタイルメイト 16手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
							王		王	四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 桂4

■ 43B-6 変寝夢氏作

対面協力自玉スタイルメイト 16手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
									王	三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 桂4

■ 43B-7 神無太郎氏作

安南協力自玉スタイルメイト 22手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
			王						三
									四
									五
									六
			王						七
									八
									九

持駒 桂4

■ 39-12 一乗谷酔象氏作 (再掲)

推理将棋『アナグラムな対局』

助手「今度は私の先手番でいいですね。
では、お願いします」

・・・30 手目後手の手番で・・・

博士「王手！」

3 回目の王手だけど、これで詰みだね」

助手「負けました。

16 手目に 2 枚目の駒を打たれたところ
ではまだまだと思ったんですけど・・・
後手陣は手つかずで先手陣だけ終盤に
なっていました」

博士「最終手で詰まらずに後手陣だけ初形に
戻す手もあるぐらいだからね」

助手「77 地点にこだわって角の手と角成の手
と馬の手を指した作戦が悪かったのだ
でしょうか」

博士「77 角と 77 角成と 77 馬は君だけでなく
私も指した手だからね。それだけじゃな
いよ。棋譜をよく見てごらん。
先手と後手の各々の着手 15 手の棋譜は、
順序の違いを除けば同一なんだよ。いわ
ば、『アナグラムな対局』だったんだ」

さて、アナグラムな対局とはどのような将棋
でしょうか？

二人の会話を元に推理してください。

条件

- 1) 30 手目に 3 回目の王手で詰んだ
- 2) 先手と後手の各々の着手 15 手の棋譜が順序

の違いを除き同一 (注*)

3) (棋譜上)77 角、77 角成、77 馬の手あり

4) 16 手目は 2 回目の駒打ち

5) 30 手目に別の手を指せば後手陣だけ初形に
戻すことができた。(後手陣の 1~3 段目を初
形配置 20 枚にできた)

注* 先後同一着手：棋譜が(表記上)同一で
あれば着手内容は問いません。

例)

- ・ ▲76 歩△34 歩▲77 桂△同角成▲58 玉△22
馬▲同角成△77 桂の場合、3 手目と 8 手目、
4 手目と 7 手目はそれぞれ同一扱いです。
- ・ ▲56 歩△54 歩▲55 歩△同歩の場合、3 手目
と 4 手目は同一になりません。

☆手数短縮型問題でもありますので、「先後同一
着手」の 28 手以下の解は超正解として加点
します。

■ 40-11 一乗谷酔象氏作 (再掲)

推理将棋『生駒王手 4 回のスタイルメイト』

博士「新定跡の研究は進んでいるかな。

たまには一局やるか」

助手「はい。

今度は私の先手番でお願いします」

・・・29 手目先手の着手の後、
30 手目後手の手番で・・・

博士「まだ詰まされていないけど後手に指す

手がないから仕方ないね。負けました」

助手「ありがとうございました。

感想戦をお願いします」

博士「序盤から王手を食らいすぎたよ。

成駒の王手はなかったけど、17 手目が早
くも 4 回目の王手だったからね。」

助手「ええ、不成の多い将棋で 6 回も不成の手
がありましたね」

博士「角が成られた直後の応手がおかしな
かな」

助手「ええ、2 回ありましたけど、着手した駒
はいずれも香の効きに入っていました」

博士「金を取られた直後の応手もおかしな
かな」

助手「ええ、2 回ありましたけど、いずれも歩
の手でした」

博士「銀を取られた直後の応手も変だったよ」

助手「ええ、2 回ありましたけど、いずれも駒

が直進する手でした」
博士「そもそも2手目飛車の作戦がおかしかったようだね。
角頭の歩の手も悪手だったし」

さて、「生駒王手4回のステイルメイト」とはどのような将棋でしょうか？
二人の会話を元に推理してください。

条件：

- 1) 29手目を指した局面がステイルメイト
(30手目の後手番で指す手がない)
- 2) 不成が6回あり、成駒の王手はなかった。
- 3) 17手目は4回目の王手。
- 4) 後手の指し手が以下の条件を満たすこと
 - a) 2手目に飛車の手を着手した。
 - b) 角頭に歩の手を着手した。
 - c) 角を成られた直後、後手は(いずれも)香の効き(のある地点)に着手した。
 - d) 金を取られた直後、後手は(いずれも)歩の手を着手した。
 - e) 銀を取られた直後、後手は(いずれも)駒を直進する手を着手した。

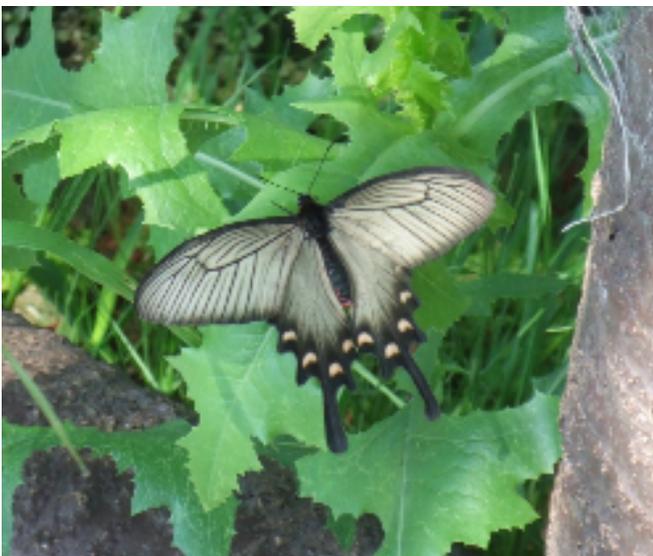
☆今回の出題では以下のヒントを追加します。

ヒント1：最終玉位置は **85**

ヒント2：2手目は **92 飛**

☆なお、上記のヒント1及びヒント2を満たす29手解は「準正解」として扱いますので、元の条件に合わなくても、こちらの条件に合えば、解答をお送りください。

以上



推理将棋第56回出題 担当：DD++

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第56回出題です。はじめての方は

どんな将棋だったの？ - 推理将棋入門

(http://toybox.tea-nifty.com/memo/2007/05/post_53f2.html) をごらんください。

解答、感想はメールで2012年6月20日までにTETSUまで (omochabako@nifty.com) メールの名前は「推理将棋第56回解答」をお願いします。

推理将棋第56回出題 担当 DD++

今回は古株の方々の作品を、と思ったのですが投稿作が2題しかなかったため初級は数合わせです。私から何かお題を出して作品募集した方が投稿増えるのでしょうかね？

初級は数合わせ用の作品。普段練習問題で最後の3手問題を出していますが、ここでは最後の5手問題にチャレンジ。中級はけいたんさんから。理詰めでさっくり解ける簡単めの10手です。上級は長編作家橘圭伍さん。ひらめきに頼る問題ではなく、じっくり考えてじわじわと手順を解き明かしていくタイプの問題。ぱっと見では条件の多さに面食らうかもしれませんが、腰を落ち着けて取り組んでみてください。

■練習問題

「さっきの将棋、▲76歩△42玉▲33角成△52玉▲43馬△51玉まで見てたけどどうなった？」
「9手で詰んだよ、って言えば残りの3手は分かるよね」

さて、残りの3手はどんな手だったでしょうか。

■本出題

56-1 初級 DD++作

船囲いを崩すには 9手

練習問題よりちょっと長い手数にチャレンジ。

56-2 中級 けいたんさん作

飛成でも詰み 10手

最終手は歩成の方が正解です。解答時にお間違いないように。

56-3 上級 橘圭伍さん作

円舞！？ 15手

腰を落ち着けて少しずつ解きほぐして、さて何が飛び出すでしょう。

■締め切り前ヒント (6月16日 DD++)

締め切り前ヒントです。

初級：52に上がっている金を奪って、その打ち場を後手に空けてもらいましょう。

中級：47地点に歩と飛の焦点を合わせます。46歩を打つためには？

上級：先手着手筋は2筋3筋5筋6筋7筋。先手角が22で角を奪った後もう2手で53へ移動するには後手の協力が必要です。

56-1 初級 DD++作

船囲いを崩すには 9手

「さっきの将棋、▲96歩△52金右▲97角△42玉まで見てたけどどうなった？」

「9手で詰んだよ、って言えば残りの5手は分かるよね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・9手で詰んだ
- ・指し始めは▲96歩△52金右▲97角△42玉

56-2 中級 けいたんさん作

飛成でも詰み 10手

「さっきの将棋どうなったの？」

後手が玉を動かしたところまで見ていたけど」

「10手で先手が詰まされてたよ。

とどめは歩成だったね。

とどめで飛成でも詰んでたけど」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・10手で詰んだ
- ・後手が玉を動かした
- ・とどめは歩成
- ・とどめで飛成でも詰んでいた

5 6 - 3 上級 橋圭伍さん作

円舞！？

15 手

A「この前将棋見てたら、26 角成 62 金同角成迄 15 手で後手が詰まされてたよ」

B「その将棋なら自分も見たよ。先手も後手も同じ駒を異なる地点へ丁度 4 連続で動かしてたね」

C「それだけじゃ、分からないから他にもヒントを……」

A「歩の着手と王手が丁度 1 回ずつあったね」

B「先手が着手した筋は丁度 5 つだったね」

A「ああ、後、玉の手はなかったね」

C「成程、それで手順が分かったよ！」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・ ▲26 角成 △62 金 ▲同角成迄 15 手で詰んだ
- ・ 先手は同じ駒を異なる地点へ丁度 4 連続で動かした
- ・ 後手は同じ駒を異なる地点へ丁度 4 連続で動かした
- ・ 歩の着手と王手は丁度 1 回ずつ
- ・ 先手は丁度 5 つの筋に着手した
- ・ 玉の手なし

■練習問題解答

問題以下、▲61 馬 △42 玉 ▲43 金まで。

前担当タラパパさんの名作の手順。玉が 3 手かけて元の位置に戻るのので、「事実上 6 手」の詰みの形の 1 つです。ちなみに▲43 馬までの 5 手を提示して「残りの 4 手は？」でもこの順しかありません。

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香	桂	銀	馬		香	銀	桂	香	
二		飛				王		角		
三	歩	歩	歩	歩	歩	金	歩	歩		
四										
五										
六			歩							
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩		
八								飛		
九	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	

持駒 歩2

JIGSAW BOX #07 出題

担当：小峰耕希

今年もアマレン杯連動のフェアリー握り詰企画「JIGSAW BOX」の開催です。

とはいうものの、7回目となる今回は投稿作数が2。私が担当するのも6回目です。そろそろマンネリ感が強くなってきたかも…。5～6年前と違って、私もいろいろと他の課題を抱え込む事が多くなってきました。昨年からはWFP作品展がない月の穴埋め企画という性格も強くなっていますが、何かしら打開策を考えた方が良いかも知れません。

何か愚痴っぽくなってしまいましたが、今回も皆様からのご解答をお待ちしております。

小峰耕希

【最悪詰】 攻方はなるべく相手玉が詰まないように王手し、受方はなるべく早く自玉が詰むように応ずる。

【PWC】 位置交換キルケ。取られた駒は、取りを行った駒が元あった場所に復元する。

【成禁】 手順中に駒を成る手は禁止。

【打歩協力詰】 別称打歩ばか詰。必ず打歩で詰ませなければならない協力詰。

【協力詰】 通称ばか詰。双方が協力して最短手数で受方玉を詰める。

・解答先：jigsawbox@gmail.com

・解答締切：7月29日（日） ←多少遅れ可

・結果発表：8月20日（月） ←WFP第50号掲載

<お願い>

解答メールを頂いた際には、必ず受取通知のメールを返送します。もしメール送信後3日以上経っても音沙汰が無い場合は、ブログ

<http://fourth-of-may.cocolog-nifty.com/blog/>

または掲示板

<http://jigsawbox.green.coocan.jp/?m=listtop> にご連絡下さい。

・メール整理の都合上、作品投稿の際には件名に「JIGSAW」の文字列を組み入れて下さい。

07-01 神無七郎

最悪詰 33手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							歩	王	一
									二
						飛			三
									四
									五
									六
								王	七
							歩		八
				金			香		九

持駒 なし

07-02 神無太郎

PWC成禁打歩協力詰 47手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
								歩	三
									四
							歩		五
						王	王		六
								王	七
									八
									九

持駒 香

第42回WFP作品展Bコース及び 第43回WFP作品展Aコース結果

担当：神無七郎

先月、門脇芳雄氏逝去の訃報がもたらされました。結果稿の前にこの場をお借りし、故人のご冥福をお祈りします。

門脇氏は詰将棋の創作のみならず、多くの分野で詰将棋界に大きな影響を与えた方でした。フェアリー分野における活躍も顕著です。門脇氏はフェアリーランドの前身である「ばか詰教室」の初代担当者であり、変則詰将棋を「単なる余興」から「真剣な研究に値する詰将棋の一分野」に成長させる礎を築きました。残念ながら筆者は「ばか詰教室」にリアルタイムで参加することはできませんでしたが、こうしてWFP作品展の担当を行うことで、門脇氏の始めた活動を引き継いでいます。

その他にも詰将棋データベースの実現、全詰連幹事・会長としての活躍など、門脇氏の業績は数え上げたらきりがありません。中でも「詰むや詰まざるや」の刊行は最大の業績でしょう。言うまでもなく「詰むや詰まざるや」は「無双」「図巧」の優れた解説書ですが、宗看・看寿の作品そのものの価値に加え、門脇氏の論考からも筆者は大きく影響を受けました。特に「○○の系譜」として、馬鋸や煙詰など、古人が先鞭を付けた分野を、後世の人々がどう発展させたのかをまとめた記事が大きな刺激となりました。そこに書いてあるのは、数行の簡単な紹介文なのですが、それが「そんな作品を作ることが本当に可能なのだろうか？」という興味をそそり、想像力を掻き立てたのです。そして自分でその紹介文に合う詰将棋を作ろうとしました。もちろん、その試みは当時初心者であった自分には荷が重すぎたのですが、詰将棋の進歩が既存の技法の累積的な改良と、突然変異的なイノベーションの両輪によって成り立っていることを理解できたのは大きかったと思います。

「○○の系譜」として作品同士の関連を表す系統樹を描き、体系的に過去と未来を見通すことで、次に自分が何に取り組むべきかを考える――それは作家には欠くことのできない手法の一つであり、それを広めたのが門脇氏のこの著作だったのです。この手法は特に長編に有効で、私と同世代に多くの長編作家が登場したのは決して偶然ではないと思います。門脇氏の遺した偉大な業績に改めて敬意を表したいと思います。

さて、今月は第42回作品展Bコースと第43回作品展Aコースの結果発表です。何と1題以上の正解者はたくぼん氏お一人。後は変寝夢さんが白旗解答でコメントを寄せてくださっただけでした。結果は（まとめるまでもありませんが）下記の通りです。

〔第42回WFP作品展B解答成績〕（敬称略）

○：正解　－：無解

解答者名	1	2	3	4	4'	計
たくぼん	○	○	－	－	－	2
変寝夢	－	－	－	－	－	0

〔第43回WFP作品展A解答成績〕（敬称略）

○：正解　－：無解

解答者名	1	2	3	計
たくぼん	○	○	○	3
変寝夢	－	－	－	0

今回正答が寄せられなかった42B-3、42B-4、42B-4'の3題については、締切を7月15日(日)に再設定しますので、解答をお寄せください。

■ 42B-1 小林看空氏作（正解1名）

背面協力自玉スタイルメイト 14手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
		王							四
									五
王									六
									七
									八
									九

持駒 銀

【ルール】

• 背面

敵駒と背中合わせになったとき、互いに利きが入り替わる。

• 協力自玉スタイルメイト

先後協力して最短手数で攻方をスタイルメイト（王手は掛かっていないが合法手のない状態）にする。

【解答】

87 銀 88 飛 97 銀 87 玉 88 銀 89 桂
27 飛 28 角 81 飛成 85 飛 96 銀 同玉
92 龍 93 桂 まで 14 手

(最終形)

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
龍										一
科										二
			王							三
		飛								四
王										五
										六
									馬	七
										八
科										九

持駒 なし

【作者のコメント】

5ケの背面(合)駒です。

【解説】

10手目 85 飛のみが普通の合駒で、それ以外の駒打ちの応手はすべて背駒という、背面ルールを最大限に使った作品。しかし、それ以上に心理的な不利感を伴う手順が、解答者を苦しめたと思います。

まずは初手。通常は 85 銀 86 飛 95 銀 86 玉 (または 97 玉) 86 銀 … と進めたくなる所です。実際この展開でも 16 手でステイルメイトになるので、この紛れを捨てるのは難しいと思います。作意の 87 銀 88 飛 97 銀 87 玉 88 銀 … という入り方は、上記に比べ攻方王から遠い分、むしろ不利に見えます。

次の山場は 5 手目の 88 銀、筋の良い人ほどこの手には抵抗を感じるでしょう。せっかく飛で8筋を封鎖しているのに、その駒を取ってしまうからです。しかも、銀が攻方王から離れて役立たずになりかねません。

このように不利な要素しかない手順を成立させる魔法の手が 6 手目 89 桂です。普通のルールでは一段目の桂は反則ですが、背面ルールでは反則ではありません。この手によって銀が再び活用でき、飛で包囲網を形成する手順のサポートをすることができるのです。

本局のように中段玉の構図は包囲網を形成するのが大変なので、ステイルメイトを達成するには大数の駒を発生させる必要があります。これは、作家にとっては狙い目です。盤上に大奥の駒を発生させるような作品を作りたいなら、「ステイルメイト+中段玉」をまず考えてみましょう。

【短評】

変寝夢さん (※無解)

8七銀、8八飛、9七銀、8七玉、8六銀、7六玉、7五銀、6六銀、5六玉あたりかなと思いましたが。3手目8五銀、8六背、9五銀の筋なのかなー。

☆ 最初の筋が正解に近かったですね。

攻方王の左右を飛で塞ぐというのは自然な発想ですが、作意は上下を飛で塞ぐ(ただし1枚は背駒で化けた飛)という手順でした。

たくぼんさん

76 銀の方が王に近づくのでそちらばかり考えていました。

92 龍、93 桂が見事なフィニッシュ。

☆ たくぼんさんの言う「76 銀」は 7 手目のことですね。玉同士が近づくのは良いのですが、玉同士が同じ筋に来ると飛が使えにくいという副作用があります。

一般には玉同士が近くて、筋か段が少しだけずれているというのが、双裸玉では詰ませやすい(あるいはステイルメイトにしやすい)形です。本局の 96 銀は王から遠い方に跳ねる手ですが、この点では双裸玉のセオリーに沿っています。

■ 42B-2 小林看空氏作 (正解1名)

背面協力自玉ステイルメイト 20手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
										一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
				王	王					八
										九

持駒 桂2 香

【解答】

49 香 37 玉 29 桂 36 玉 48 桂 45 玉
37 桂 38 飛 57 桂 58 角 36 桂 46 飛
同香 35 玉 75 飛 76 桂 41 香生 36 玉
48 桂 同飛成 まで 20 手

(最終形)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					香				一
									二
									三
									四
		飛							五
		科				王			六
									七
			王	馬	龍				八
									九

持駒 なし

【作者のコメント】

長手数もの。

【解説】

作者はサラッと「長手数もの」と仰っていますが、単に手数が長いだけでなく、極めて内容の濃い、秘術を尽くした手順が展開されます。実のところ筆者は、42B-3 よりこちらの方が解答者は少ないのではないかと予想していました。

まず初形を見てみましょう。初手で考えられる王手は49香の1手。47桂の背駒もありますが、それでは自玉ではなく相手玉を詰めてしまいます。49香とすれば、もうこれで手駒には桂しか残らず、盤上の香が主役になる展開が予想できます。そして実際の手順は予想通り、いや予想以上に香が大活躍します。

今度は、思いっきりフライイングをして最終形を見てください。九段目に打ったはずの香が、何と一段目にいるではありませんか！

そう、これが単なる長手数ものではない、作者の一貫した狙いです。初手に打った香を軸として開き王手ができる形を作り、香の不成による一段目への移動により、香を消すために掛かる手数を抑えるのです。7手目すぐに開き王手にいかず、37桂 38飛で飛を発生させ、更にその桂を2段活用して角まで発生させる周到な手順も、この狙いが見えないと指せません。

最終形では7筋の飛桂の対が王の左側を抑えています。場所は普通よく目にする上段ではなく、中段です。もちろん、飛が動くと自玉に王手が掛かるので、この飛は動けません。飛が桂によってピンされているわけです。

「一段目の香」の筋は、WFP46号の「背面ばかり自殺スタイルメイト詰の紹介」の(7)でも使われていましたが、本作は開き王手によって一

段目に移動する仕組みなので、より難しくなっています。ルールは異なりますが、筆者は Fairy TopIX 2011 の短編部門1位の神無太郎氏の作品(WFP46号35ページ参照)を連想しました。本局は双裸玉ですから逆算もできないですし、桂桂香という持駒の組み合わせは単純な絨毯爆撃の手法で見つけることはできません。どうやってこの図に至ったのかとても不思議ですが、作者がこのルールについて徹底的に研究し、誰よりも精通していることの証拠であることは間違いないでしょう。素晴らしい作品でした。

【短評】

変寝夢さん(※無解)

思わずたくぼんさん、頑張ったと思ってしまう。

☆この作品については白旗もやむなしですね。他力本願になるのも仕方ありません。そして、たくぼんさんは期待に違わず、見事正解を送ってくれました。

たくぼんさん

10手目までは雰囲気が進むが11手目56桂の紛れで苦しみました。

46飛、同香、56玉、48桂、同飛成、53飛、46玉、43飛生、44角、76飛、77銀までの22手が余りにも作意っぽい。

その後、36桂から考え直しても48桂、同飛成を先にする順から考え堂々巡りでした。

35玉から41香生とは凄手があったものだ。57桂が角に見えにくい視覚効果も巧みに使われています。

☆たくぼんさんも本局には相当苦心されたようですね。しかも、こんなに強力な紛れがあったとは…

筆者は本局を見たとき「詰むや詰まざるや」を初めて読んだときと同じような驚異を感じました。「これは人間の限界を越えている」と…でも、そうじゃないんですね。「無双」や「図巧」は高難度の作品集ではありますが、現在の目で見れば、決して人智を超えた難解さではありません。人間は学習する動物です。いつか本局のような作品に対しても、「手ごわいけれども」という注釈を小声で付け加えつつ、「これくらいは解けて当然」と大見得を切りたいものです。

■ 42B-3 神無太郎氏作 (正解者なし)

命名『矢絰II』

Kマドラシ協力自玉スタイルメイト 52手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
									王	三
										四
										五
										六
王										七
										八
										九

攻方持駒桂25

受方持駒∞

【ルール】

•(K)マドラシ

同種の敵駒が互いの利きに入ると、利きがなくなる。玉も互いの利きに入ることができ、互いの玉の利きがなくなるものを「Kマドラシ」と呼ぶ。

•持駒：∞

指定駒を無限に持っていることを示す。指定が特にない場合は、全種類の駒を無限に持っていることを示す。

☆ **本作品は締切を7月15日(日)に延長します。**正解者はゼロでしたが、コメントを載いているので以下に掲載します。

【短評】

変寝夢さん (※無解)

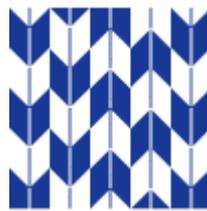
桂馬がいっぱいでしょう。手順は地味そうな予感。

☆ 確かに桂ですから、盤上を飛び回るような手順は出てきませんが、「美」は感じると思いますよ。

たくぼんさん (※無解)

矢絰を辞書で引いて形は想像出来るのですが時間切れ。これは解きたかった。

☆ 矢絰（やがすり）とは日本の文様の一つで、次のような図柄のことを指します。



(矢絰)

日本の文様は自然の風物を抽象化・記号化した図案を使うことが多いのですが、矢絰は「道具」の一部を基本パターンに使っているのが特徴です。ある意味、20世紀後半に登場したミニマルアートの先駆と言っても良いでしょう。本作ではこの文様が解図のヒントとなっています。また、第42回作品展の作品なども参考にして本作にチャレンジしてください。

■ 42B-4 一乗谷酔象氏作 (正解者なし)

推理将棋『狭い所で長期戦』

「昨日、奇妙な将棋を見たよ。金の手を指した2手目以降の着手は四カ所だけ、それも縦2マス横2マス、ある2×2の範囲内だけだった」

「へえ、それは珍しい。そんな狭い所だと、すぐに決着がついたんだろうね」

「いや、狭い所でも激しい攻防が長く続いたよ。駒を打った場所は1カ所だけだったけど、駒を打った2手後は必ず、駒打ちのあった場所の隣の筋に着手していたね」

「へえ、何手で詰んだの」

「たしか63手目に駒を打って詰みだったよ」

「そりゃすごい。でも、千日手模様じゃなかったかい？」

「いや、先手の着手の棋譜はダブっていなかったし、同一局面もなかったよ」

条件：

- 1) 63手目に駒を打って詰んだ
- 2) 2手目は金
- 3) 2手目以降はある2×2の範囲内の四カ所の着手のみ
- 4) 駒を打った場所は1カ所だけ
- 5) 駒を打った2手後は必ず、駒打ち場所の隣の筋に着手
- 6) 先手の着手に（棋譜表記上）重複なく、同一局面もなし

【ルール】

•推理将棋

将棋についての会話をヒントに将棋の指し

手を復元する。

☆本作品は締切を7月15日(日)に延長します。
42B-4、42B-4'への解答者はゼロで、コメントを送ってくださったのも、たくぼんさんのみでした。そのコメントを以下に掲載します。

【短評】

たくぼんさん (※無解)

近いところまで行くのだがどこかに見落としがあるのだろう。4'までは手が回らず。

☆「ルントラウフ(回転)」を主題にした本作。「長期戦」に登場するのは飛角金銀桂とその成駒。普通に考えると3)と6)の条件により攻方は一種の駒の着手の最大数は4になりますが、「同」の利用で棋譜上の相違を作ることにより、5つの着手が可能になることもあります。逆に様々な条件や、他の駒との連携の関係で、4未満の着手しかできない場合もあります。この辺りをうまく整理して、最適の組み合わせを探してください。

■ 42B-4' 一乗谷酔象氏作 (解答者なし)

上記問題のうち、以下の3条件のみを満たす、71手以上の解を求めてください。

条件:

- 4) 2手目以降はある2×2の範囲内の四カ所の着手のみ
- 5) 駒を打った場所は1カ所だけ
- 6) 先手の着手に(棋譜表記上)重複なく、同一局面もなし

☆71手より長手順の解は超正解として加点します。最長手数解は更に加点します。

☆本作品は締切を7月15日(日)に延長します。



■ 43A-1 神無太郎氏作 (正解1名)

安北協力自玉スタイルメイト8手
9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
						王			七
							桂		八
								金	九

持駒 桂 香

【ルール】

•安北

味方の駒が縦に並ぶと、下の駒の利きは上の駒の利きになる。

【解答】

39 香 38 角 同香 28 玉 91 角 38 玉
92 桂 91 馬 まで 8 手

(最終形)

									9
									8
									7
									6
									5
									4
									3
									2
									1
金									一
桂									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

【解説】

「四隅の香車を見よ」という将棋の格言があります。本作は正にその言葉が当てはまる作品。初形は右隅に小ぢんまりと固まっていますが、そこばかりを見ては本局は解けません。付け加えると、見るべきなのは盤上だけではなく、駒台も見なくてはいけないのです。スタイルメイトは駒を減らすルール……そう思い込んでも本局は解けません。本局は、駒を消すためにその助けとなる駒、「角」を入手するのが狙いです。

駒を減らすために駒を増やす、というのは逆説的ですが、角の入手により一段目からの王手を行い、これを土台にすることにより二段目の桂が王手になります。そこで、根元の角を取り払えば、桂は元の性能に戻って、利きが消滅するという寸法です。

本作品展にスタイルメイト作品が多く登場するようになってから何度も繰り返していることの一つに「スタイルメイトでは桂がお荷物になりやすい」があります。桂で王手をしても「同玉」とできないことが多いからです。本作は桂を取らせるのではなく、他の駒の助けを借りて無効化する手筋を使った作品ですが、その過程で駒を増やす必要が生じるので、より妙手感が増していると思います。

【短評】

変寝夢さん（※無解）

これは解きたかった。

1 段目に桂馬の上の香での不成ありと決め打ったが、どうしても桂が消えなかった。残念。

☆ 変寝夢さんのイメージは 42B-2 に近い感じでしょうか。安北の場合は一段目の桂香は不可なので、安南と混同したのかもかもしれません。

たくぼんさん

何となく 91 がポイントと感じた。とはいえ角合は手駒が増えるだけにやり難い。

☆ さすがは、たくぼんさん。何もない場所に作意が存在することを見抜く嗅覚が素晴らしいですね。

■ 43A-2 神無太郎氏作（正解 1 名）

安北協力自玉スタイルメイト 10 手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
				王					五
									六
									七
									八
									九

持駒 角2 金桂2

【解答】

11 角 22 銀 91 角 82 銀 56 金 同玉

12 桂 11 銀 92 桂 91 銀 まで 10 手

（最終形）

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香										香
桂										桂
					王					

持駒 なし

【解説】

本局は玉を「都」に置いた、究極の美形裸玉です。普通詰将棋では残念ながら都玉の裸玉の完全作は発見されていませんが、フェアリーでは、そんな夢のような作品にしばしば出会うことができます。本作もそんな作品の一つ。

本局は前局で出てきた、「根を払う」手筋を趣向的に 2 回行う作品です。持駒を増やす必要がない分、前局よりは易いでしょう。角を使い切っているので、銀合いが自然に限定されるのも良いですね。

本局は初形その他、4 手目、6 手目を指し終わった時点で左右対称形が現われます。5 手目は中央への着手ですが、7 手目は左右どちらを先にしても良いので、人によっては非限定のように感じるかもしれません。本作品展では、特に断わりがない限り、左右対称形からの左右対称解は（たとえ途中左右対称であっても）同一として扱い、非限定とみなさないことにしたいと思います。

ところで、本作のように同じ手順を左右対称に行うのは、趣向作向きでない素材を趣向風に仕立てたい時に有効な方法です。ちょっとこれは趣向には無理かも…という素材でも、無理やり左右で 2 回やってみてください。意外と趣向作らしく見えるはずですよ。

【短評】

変寝夢さん（※無解）

9 一角、6 五玉、9 二桂、5 四玉、8 一角か、7 三角、6 五玉、7 四桂、同玉、5 二角に絞

ったがダメでした。

☆ 惜しい！ 91 角に前局で気づいていれば…

たくぼんさん

裸玉でこれほどユニークな作品がこれまであったらどうか。

でも非限定？でいいんでしょうね。

☆ 解説で述べた通り、個人的には初形左右対称と途中左右対称は同一扱いが良いと思います。ちなみに f m で途中左右対称形からの左右対称解を同一扱いする場合は /XY というオプションを付けます。5 筋付近で絨毯爆撃型の探索を行う場合は、このオプションの有無にも気を付けてください。

■ 43A-3 神無太郎氏作（正解 1 名）

安南協力自玉スタイルメイト 12 手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

龍	龍									一
										二
										三
								王		四
										五
										六
										七
										八
馬	馬									九

持駒 桂2

【解答】

13 馬 同玉 93 龍 83 金 73 龍 63 金

22 馬 同玉 92 桂 93 金 72 桂 73 金

まで 12 手

(最終形)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
桂	桂							王		二
馬	馬									三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 なし

【ルール】

• 安南

味方の駒が縦に並ぶと、上の駒の利きは下の駒の利きになる。

【解説】

本局も“根を払う”手筋を趣向的に 2 回行う作品。ただし斜めでそれを実現していた前局と異なり、構図は横型になっており、根となる駒は龍、根を取り払う駒は金という組合せになっています（前局では角と銀の組合せ）。また、ルールも上下反転した「安南」になっています。

安北と安南が混ざっていましたが、今回の 3 題は「2 段目に取り残される桂」という共通点があります。また、これは偶然ですが、小林看空氏の作品の一段目に取り残される桂や香とも符合しています。今回の作品展全体を通して、居るはずのない場所に、居るはずのない駒が居て、とても重要な働きをしているのが印象的な作品展だったのではないのでしょうか。

【短評】

変寝夢さん（※無解）

何か趣向っぽそうなんだけど筋が見えず。

☆ 作意が見えないと馬 2 枚の紛れが強烈ですからね。馬 2 枚を持駒金 2 枚と変えた図が出題図なら、きっと解けたと思います。

たくぼんさん

前作の銀合銀合に対応しての金合金合。いろいろ面白い手順もあるものです。

☆ 世に趣向の種は尽きまじ。

「何でもとりあえず 2 倍にしよう」という精神で、皆さんも趣向詰を作ってみてください。

【総評】

変寝夢さん

いやー、1 問も解けないのは辛いです。まあ実力です。

☆ 今回の 42B は難度が非常に高かったですから、この結果も致し方なかったかもしれません。変寝夢さんは解けないときでも、読んだ筋を書いてくださるので、解説の時にいつも参考にさせて戴いています。

以上

第12回詰四会フェアリー作品展解答

課題：斎藤夏雄氏の結婚を祝して

今回はマイナールールで取っ付き難かったのか解答者1名と感想1名と寂しい解答状況でした。

Isardam

同種の敵駒の利きに入る手を禁止する。成駒と生駒は別の駒として区別する。以上の条件は王手の概念にも適用され、玉を取ると同種の敵駒の利きに入る場合は王手とみなさない。

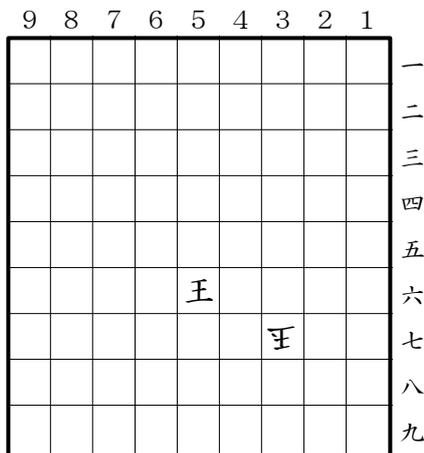
協力自玉詰 (=ばか自殺詰)

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

第1番

神無太郎作 Isardam 協力自玉詰 8手

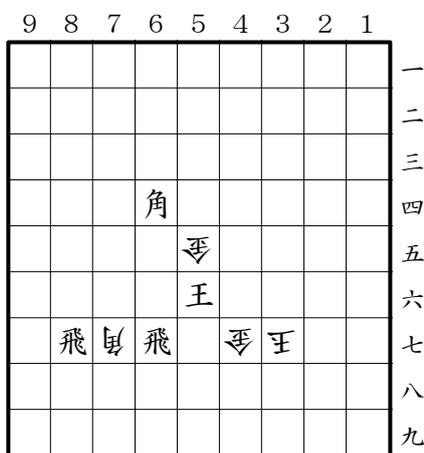
「あいがいっぱい」



持駒 飛2

97飛 87角 同飛 77角 67飛 47金
64角 55金 まで 8手

詰上図



持駒 なし

★ 題名がヒントとなるので初手 97飛～合駒を考えます。7段目抑えて 55金の頭金の詰上りが浮かべばストーリーが見えてくると思いますが、Isardamルールは慣れないとなかなかそれが難しい。私もしばらく浮かびませんでした。初手 97飛の意味は、角を入手(87)、77角発生、67飛(退路封鎖) 47金(退路封鎖)のスペースがいる為です。全ての面で2枚の王位置が絶妙と分かります。次に詰上りを説明しておきます。最終手 55金に対して逃げる手はありませんので同角か同玉しかありません。同角は77角の利きに入りますので禁手。同玉はどうでしょう。55の地点は77の角と64の角の利きがありますので同玉で逃れるようにも見えますね。しかしそうではありません。77角は成ることが出来、64角は成ることが出来ないのです。よって同玉は同角成と取られてしまうので禁手。これで何故64角だったかが分かりますね。73以遠では先手角も成ることが出来るので最終手に同玉が成立して不詰です。

橋本孝治

命名通り「合」がいっぱい。手順表面には出てきませんが、64角の限定や、55金を取れない理由を考えると、Isardamの条件がとても効果的に働いています。

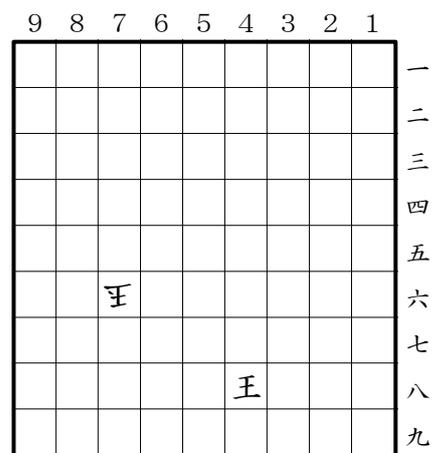
変寝夢

玉の真上や真下に飛を打つ展開を想定しましたが・・・。

第2番

神無太郎作 Isardam 協力自玉詰 8手

「つかずはなれず」



持駒 角

94角 85飛 同角 49角 56飛 67玉
57王 59飛 まで 8手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
	角								五
				飛					六
			王	王					七
									八
				飛	角				九

持駒 なし

★「つかずはなれず」と題名が付いた本作。詰上図を見てもらえば分かるとおり玉がぴったり寄り添ってますね。結婚祝賀にぴったりと思います。玉が敵対してるのは・・・と言われそうですが、知り合って結婚するまではもともと他人ですので問題ないでしょう。最後に是非67玉の向きを変えて置いてください。手順のポイントは7手目57王と自ら王手をかける手。先手王を男性、後手玉を女性に見立てるとプロポーズのような手です。57王に対して67玉は逃げることも取ることも出来ません(49角が85角の利きに入るため)。このルールではたまに出てくる手筋です。危機的状況ですが、59飛で形勢逆転します。先手玉は動くと56飛が59飛の利きに入るので動けなくなりました。59飛が王手回避の一手と分かります。やはり最後は女性一枚上手ということでしょうか(?)初形双裸玉から詰上りは大駒4枚増えてましてこれもまた印象的ではありますね。(子供は4人?)

橋本孝治

飛角で「着かず離れず」の絶妙の間合いを作り、2つの玉はぴったり寄り添う。性能変化などで玉同士が密着できるルールは、意外と結婚祝いに向いてますね。ルールがマイナー過ぎると解ける人が少ないのが問題ですが...

変寝夢

「突かずは成れず？」持ち駒角で付かず離れずはないだろう。まあこれも意味不明ですが。

【総評】

橋本孝治

斎藤さん、ご結婚おめでとうございます。作品の方で貢献できなかったのですが、解答の方でお祝いのイベントに参加したいと思います。

変寝夢

精一杯ヒントを捻ってみたら何とかなるかと思いましたがダメでした。というわけで、お祝いの言葉を。

斎藤さん、ご結婚おめでとうございます。うちも名古屋の全国大会でお披露目してから十五年です。山も谷も嵐もありましたが、振り返ってみるといい思い出です。全国大会等で顔を見かけたら、声でも掛けてください。絡んじゃうかもしれないけど……。いつまでもお幸せに。

★ 斎藤さんとは詰備会、詰四会の常連メンバーとしてお会いしていますので5年位のお付き合いでしょうか。詰将棋やチェスはもちろんのことピアノ、折り紙、山登りといろいろな分野で活躍されています。いずれフェアリーの世界へもお誘いしたいと思っておりますがどうなりますやら……。

これまで全く女性の影を感じる事がなかったのですが、結婚の報を聞いてまさにびっくり仰天。まあ世の女性がほっとく分けがないですわな。末永くお幸せに……。

【解答成績】

全題正解：橋本孝治

0題正解：変寝夢

たくぼん

推理将棋第55回出題解答 担当：DD++

出題： 平成 24 年 5 月 4 日
 解答締切： 平成 24 年 5 月 20 日

推理将棋第55回解説 担当 DD++

今月は上級が難しいので解答者減を覚悟していましたが、無事 21 名の解答をいただきました。55 回にあわせての出題を焦ったせいで上級の余詰めに後から気づくというミスをしてしまったことは本当に申し訳なく思います。

55-1 初級 山葵茶漬けさん作 三々五々 9手

とある学生将棋大会にて

「こんなところにいたのか。1 回戦負けしたのがそんなにショックか？」

「そりゃ 9 手で詰まされて負ければね」

「そりゃそうか。それより部長から伝言だ。自分の対局が終わるなり、三々五々歩いて学校に戻れって」

「終わるなり……歩いて……三々五々って、ひどいなあ」

「ん、三々五々がどうかしたか」

「さっきの将棋、3 筋 3 筋 5 筋 5 筋っていう順に着手して負けたんだよ」

「ああ、相手が初手に飛車を動かしたのは見たけど、あの後そんな事になったのか」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・ 9 手で詰んだ
- ・ 後手は「3 筋、3 筋、5 筋、5 筋」の順に着手した
- ・ 初手に飛車が動いた

出題のことば (担当 DD++)

会話を読むと条件にはなっていないヒントが 2 つ。さて何でしょう。

追加ヒント：

52 へ上がった玉の尻を埋める駒は 3 筋から動かしてくるしかありません。

推理将棋 55-1 解答

▲ 5 八飛 △ 3 四歩 ▲ 5 六歩 △ 3 三角
 ▲ 5 五歩 △ 5 二玉 ▲ 5 四歩 △ 5 一角
 ▲ 5 三步成 まで 9 手。

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	
二		飛			玉					
三	歩	歩	歩	歩	と	歩		歩	歩	
四							歩			
五										
六										
七	歩	歩	歩	歩		歩	歩	歩	歩	
八		角			飛					
九	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	

持駒 歩

理詰めで解くと難しいのですが、直感に頼るとさっくり解ける問題。後手 77 角ができないため、初手に動かした飛車を使うには飛先の歩をツンツン突いていくくらいしかありません。会話文に「三々五々」と並べて「終わるなり=対局が終わる成」「歩いて=歩を進めていく」というヒントもありますし。

最後は三段目の歩成になるので、玉を 52 へ上がって 53 歩成の形しか詰む可能性はありません。あとは金を動かさないまま 51 を埋めれば完成です。4 筋着手ができないので銀を使うことはできず、3 手かけて角を持ってくるのが正解となります。

それではみなさんの短評をどうぞ。

朱 「『終わるなり』が隠しヒントと気付いたときは思わずニヤリとしました。もう一つのヒントは『歩いて』でしょうか？」

■ その通りです。お見事。

はなさかしろう 「歩ずんずんの筋に引き角。初手飛条件で手順前後を消しつつ先手角の出動も一手間に合わなくなっていてぴったり。手順、条件ともにシンプルで美しいですね。」

■ 先手角出動は惜しい順が山とあります。非常

に際どい条件付けでした。

変寝夢 「玉が余りにも真正面から受け止めている詰め上がりが滑稽です。勇敢というか、まぬけというか……。」

■むしろ玉がまともに逃げる推理将棋は激レア……。

斧間徳子 「これは秒殺でした。」

■次はぜひ秒未満で。

ron 「文章中に隠されたヒントは『五々歩』と『終わるなり……歩』という部分でしょうか。」

■おおっと、五々歩は気づきませんでした。確かに 55 歩の着手がある……。

妙高仙人 「余詰がありそうでみつからない。」

■私も見落としをしていないかヒヤヒヤでした。

NAO 「会話のヒントとは、『終わる「成り歩」いて……』『33(角)55歩いて』でしょうか。」

■普通に「終わるなり……歩いて……三々五々」の3つのうち1つが条件化されている、という構成だったようですがなかなか伝わらなかったようで。

諏訪冬葉 「『歩いて』という言葉が歩を使うと言うヒントになっているのは気づきました。もう1つのヒントは『終わりなり』→『成りで終わり』でしょうか？」

■ですです。

鈴川優希 「これは、四字熟語から手順を考え出したのでしょうか。だとしたら綺麗な順があったものですね！」

■うまくハマるときには計算されたかのように綺麗にハマるものです。

隅の老人B 「初手に飛、これで全手順が決定。爺さんなら、『7手目に飛が動いた』、ですね。」

■動いた手限定だと大丈夫そうですが、うっかり「7手目は飛車の手」にすると「76歩、34

歩、22角成、32飛、同馬、52玉、42飛、51玉、41馬」で余詰むという際どい条件。

はらたっと 「何故だか歩成の9手詰めはすぐ見えます。」

■ではそのうちパッとわからない歩成9手詰め問題を出題しましょうか。

星の平原 「追加ヒントでようやく『終わるなり……歩いて』が『最終手歩成というヒント』ということに気がつきました。あれ？もう一つの『文中に隠れたヒント』はなんでしょう？あと文中ヒントなしでの解法も回答回を楽しみにしています。」

■「終わるなり」と「歩いて」で2つですね。このヒントなしだと飛を有効活用する方法を考えるとところからでしょうか。

S.Kimura 「飛車先の歩突きは割りと早く気づきましたが、33角から51角が好手(?)ですね。」

■普通はここを銀で埋めるところなんですが、あえて1手余計に付けるのが面白いところ。

渡辺 「これは直でした。」

■これで渡辺さんに悩まれたら困ります(笑)

平井康雄 「最初はつかみ所がなかったが、ヒントを見たらさすがにすぐにわかりました。『条件になってないヒント』って？」

■条件外ヒント、案外伝わりにくかったようです。

占魚亭 「隠しヒントに気付ければ簡単。」

■隠しヒントがなくてもそこそこ簡単、なはず。

みや 「『33』……『55』……『歩』いて……終わる『成』り……なるほど、なるほど。」

■よくぞ読み取ってくださいました。

宮谷保可楽 「この手順、ただただ笑うしかない……。」

■推理将棋の玉方は歩突きのあしらい方が上手

さて困った、というところで飛車の存在に気がつけるかどうかポイント。初形のままでは1筋に利きはありませんが、34歩から角が出ていけば12飛が指せるようになるのです。

角の行き先は55では攻めに参加できそうになるので77角不成。そこで歩を取ってもしかたがないので先手に金を渡してもらって59金でトドメが必然。あとは7手目と9手目で先手の形を整えて正解にたどり着きます。

それではみなさんの短評をどうぞ。

朱「一筋にどの駒を使えばいいのかと思ったら飛車！」

■意外だったでしょう。

はなさかしろう「さすが陰陽師、尋常ならざる手順ですね。後手が操られているとしか思えません。92香を選択すると12飛しかなくなって手順も決まる...とはいえおどろおどろしい(笑)」

■操られているのは先手ですね。3手目までは普通に指していたのかもしれませんが。

変寝夢「久々にヒント無しで2問解けました。2手目を見て、1筋の駒種がキーだなと思ったら大当たりでした。ヤマがあたると早いんだけどなあ。」

■解図のキーでありながら攻めには何も関係がない1手です(笑)

斧間徳子「2手目と8手目の無駄手の限定の仕方が意表ですね。」

■2手目は限定というか書いちゃってますけどね(笑)

ron「陰陽師登場の会話文が面白くて、笑ってしまいました。この手順、普通の指し将棋なら明らかに妖術によるものでしょうね。推理将棋では割と普通の展開ですが。」

■突拍子もない導入という点でははなさかしろうさんのmixi911番の間1を超えられそうにありません。

妙高仙人「12飛が旨い。今回のような場所や駒種を限定する条件は面白い。」

■良くも悪くもこの1手が全てです。

NAO「なるほど、後手の有効手は中央3手だけで、端の無駄手を指させるわけですね。」

■先手が一生懸命負けにくい感じ。

諏訪冬葉「1筋の手ができないと思ったらこんなところに動かせる駒が！」

■なかなか見つけづらいところにいます。

鈴川優希「無駄手が楽しい作品。初手78金の条件から、手順が思い浮かべやすかったです。」

■78に金を上げる目的といえ取らせるくらいしかありませんからねえ。

隅の老人B「陰陽師？ 夢枕獏の世界かな。無駄手の92飛の最遠振りが好手。」

■ここまで豪快な無駄手もなかなかありません。

はらたつと「69玉で詰まない。と思ってまわり道しました。」

■77角を成らないと69玉型は詰まないんですよ。

S.Kimura「どういう訳か、2手目が12香だと勘違いしてしまい、答えが複数して混乱していました。飛車が88から12に行くのは、気持ちが良いですね。」

■12香だとどうなるんですかね、92飛のタイミング違い以外に何かあるのでしょうか？

渡辺「12飛の無駄手を巧い条件でまとめました。第一感69玉に59金までの手順だったので軌道修正は容易でした。」

■69玉型を思い浮かべたのは78が金で埋まっているだろうという印象からですか？

平井康雄「全く無意味な2手がユニーク。た

だ、最初の2手が条件ではなく答そのものというの芸がなさすぎるように思われますが、他で限定させる方法が難しいのは間違いないですね。」

■「9筋の小駒の手に6筋の手で応じた」くらいでたぶんいけるのですが、主眼は12飛なのでそこ以外でややこしくするのもなあ、と考えてこうなりました。どちらを選ぶかは好みの問題でしょう。

占魚亭 「『成る手なし』が大ヒントで、一気に解けました。」

■あれ、そんなに大ヒントでしたかね。成る手があっても69玉型が増えるくらいしか差はないような気がします。

みや 「後手に無駄手が多いけど、しっかり詰むんですね。12飛車がいい手でした。」

■実質8手あればかなり頑張れます。

宮谷保可楽 「よくもまあ、こんな条件と手順を見つけてくるもんだ。特に12飛…」

■わりと平凡な手順に特異な無駄手2つを追加しただけだったり。

テイエムガンバ 「8手目の1二飛に気づくまでは、どのようにして先手が後手の角筋を通しつつ金を取らせるか、という無理筋を読みました。」

■角が33の歩をかじって退くのに3手、金を上がるのに2手で金を取った王手が回避できませんね。

鈴木康夫 「肝は1筋の駒の種類ですね。歩、桂、香？と悩んでやっと正解を見つけました。」

■ひとしきり悩んでいただけたようで何より。

たくぼん 「出だしは・・・の条件が惜しいが、こんな奇抜な内容は作者ならではのですね。感心しました」

■うーん、「9筋の小駒の手に6筋の手で応じた」の方にしておくべきでしたかね。

正解：20名

S.Kimura さん 斧間徳子さん 朱さん 鈴川優希さん 鈴木康夫さん 隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん たくぼんさん テイエムガンバさん NAOさん はなさかしろうさん はらたっとさん 平井康雄さん 変寝夢さん みやさん 宮谷保可楽さん 妙高仙人さん ronさん 渡辺さん

55-3 上級 はなさかしろうさん作

11553

11手

「それ暗証番号？ 5桁は珍しいね」
「ちがうって。さっきの将棋のメモだよ。11手で詰んだんだ」

「11手の11なんだね。それじゃ553は、5筋に53回？」

「...無理でしょそれ。55の地点に指された角の手の成不成符号を見たら3種類あったのさ」

「成不成符号が3種類？ 成と不成と、あとなんだっけ、生成りとか？」

「.....怖いこと言うね。成の手と、不成の手と、ふつうに成不成符号がつかない手だよ」

「11手で55に3種類の成不成符号の角の手だね。11243ならよくある形が使えるのにな」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・11手で詰んだ
- ・55の地点に成・不成・成不成符号なしの3種類の角の手があった

出題のことば (担当 DD++)

3種類の着手、それぞれ指したのは先手？後手？

追加ヒント：

22の玉を55角成で詰ませます。44歩や33桂の合駒による応手を許さないためには？

推理将棋 55-3 解答 担当 DD++

▲7六歩 ▼4二玉 ▲3三角不成 ▼3二玉
▲5五角不成 ▼7四歩 ▲8二角不成 ▼5五角 ▲9二飛 ▼2二玉 ▲5五角成 まで

11手。

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	爵	帝		帝	爵	科	皇	一
飛							王		二
歩	歩		歩	歩	歩		歩	歩	三
		歩							四
				馬					五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 角歩

55 という詰みにほとんど関わりそうにないところに着手3回。しかも不成や成は敵陣から角を引き返すしかなく、なお詰みから遠ざかってしまいそうです。考える上でのポイントは3回の着手を先手と後手にどう分担するか。

3手全てを先手が指す場合、先手は76歩の後ひたすら角を動かすことになります。最後は55角成になりますが、それと連携する駒もなく単騎詰めも不可能なのでこれはありえません。かといって後手が成や不成を指すのも考えにくいものです。37角不成や77角不成からだ先手玉にうっかり王手がかかってしまいます。また88角不成や99角不成からだ先手角とすれ違うのに手数がかかりすぎますし、88か99かを限定できる条件がありませんからここに作意はないと推測できます。つまり先手が成と不成を指し、後手がただの55角を指すと予想がつくわけです。

さて、後手の55角が必要なので先手は角を軽々しく取れません。ですから「76歩～33角不成～55角不成～XX角不成～55角成」という手順が必要です。これを9手目までに指し切るとすれば55馬の利きに飛か角を打って詰みですが、玉位置があまりに遠すぎて失敗。

となれば55角成がトドメの1手になります。有名な形は64玉を76歩56歩55馬で詰める形ですが、後手55角を指すタイミングがなく失敗。54玉を詰めるのも玉移動のために4筋か6筋の歩を突く必要があり、そこが逃げ道として残ってしまいます。どうやら中段玉もうまくい

かないようです。

ならば33玉や22玉が最終位置ということになるのですが、そうすると今度は43歩や21桂(22玉の場合)が移動合するのを阻止する必要があります。これらの駒を取ってしまうとそれはそれで逃げ道ができてしまうので、「43歩や21桂が残っているのに合駒ができないという状況をいかにして作り出すか」がようやく浮き出てくるこの問題最後にして最大の課題。これの解決策があることに気づかないとこの問題は永久に解けません。

方法はただ1つ。55角成を両王手にしてしまえばいいのです。つまり82角不成と飛車を取ってその陰に92飛と打ち、55角成と引いて22玉をスケールの大きな両王手に仕留めて終わり。先手の手順は1パターンしかなく、後手も22玉への3手と74歩と55角の並べ替えで、王手回避を考えると唯一に決まり、作意解となります。

なお、角という条件がない場合の余詰は以下の順。

- ▲7六歩 ▽5二玉 ▲3三角不成 ▽5四歩
- ▲5五角不成 ▽5三玉 ▲2二角不成 ▽5五歩
- ▲6四角 ▽5四玉 ▲5五角右成

出題前に気がついていれば最初から完全な形で出題できたのですが、気づくのがわずかに遅かったです。申し訳ありませんでした。

それではみなさんの短評をどうぞ。

はなさかしろう(作者) 「ご指摘、解答ありがとうございました。余詰を出してしまい、たいへん申し訳ありませんでした。作意は古典的名作『恐怖の9手』(4・3)の2手延伸で、裏推理では自然な手順ですが、水平型の両王手を初めて見た方には難題だったかと思います。自由度が高そうな条件ながら、引き成る面倒、駒の渋滞、55の地点の詰みへの絡みにくさで逃れていると思ったのですが.....見落としました。後手の55歩～54玉型は53の地点が空いて不詰と速断したのが迂闊でした。見えていればもっと良い仕上げ方があったことと、申し訳なく残念に思います。▲64角! 絶妙手でした。」

■私は55歩と54玉を個別に検討はしていたの

ですが、それを組み合わせた形が出題前検討からまると漏れていました。不完全なまま採用してしまって申し訳ありませんでした。

朱 「なかなか解けず悩むも、この詰み形を思いついて胸が高鳴る。手順に辿り着いたときは感動しました。」

■ 1条件でここまでの好手順というのはなかなかありません。

変寝夢 「ようやこうやで9二飛までたどり着いたが、そこからも一苦勞。なるほど4二玉ですか。爽快です。」

■ この序の4手は玉を1筋側に寄せる時にはありがちな序なのですがなぜか忘れがち。

斧間徳子 「42玉～32玉は、55への着手を急ぎたくなる心理の逆をつく手順で、思いつきにくかった。この派手な11手をわずか1条件でまとめているのは驚愕！ 最近の短編の中では最高傑作と思う。」

■ 投稿されてしばらく悩んだ後、解けた瞬間に即採用を決定しました。

ron 「最終図で本当に詰んでいるか何度確認、詰んでいるとわかるとこの決め方は実に痛快です。」

■ 初形から短手数でできる両王手はかなり際どく成立している形が多くて印象深くなりやすいですね。

妙高仙人 「この順をこんな巧妙な1条件でくくれるとは！ 作意順を全く想像させない見事な条件付け。後手の手順前後を誘発する順をすべて排除して、なお作意にたどり着けない難問名作。」

■ いくら裏読みしても両王手を思いつかないと本気で迷宮入りますね。

NAO 「修正前の角指定なしの条件では、符号なしが当然角以外だろうと考えていました。結局、余詰め順は解りませんでした。作意が角と解れば簡単でした。この形、後手が34歩を突かない順は珍しいか。」

■ 後手が34歩を突く順はどこかにあったはずですが、33歩をかじる手順は私は先行作は見つけられませんでした。

諏訪冬葉 「角の動き方はこれしかないと思っていましたが、最終手角成は簡単に合駒できるのでずっと選択肢から消えていました。別解は探していません」

■ 普通はそうなんですよ。両王手の特殊性が頭に入っていないと難しい問題。

鈴川優希 「問題を見た時、『はい？』というのが第一の感想。どうして55にそんなに着手しなくてはいけないのか、全く見当もつきませんでした。追加ヒントを見て両王手だと分かってからも、3種類の55着手を先後どちらが指したのか考えるのが面白かったです。詰め上げた後も、『そうかあ〜』と、何度もひとり頷いていました。」

■ 3手のうち何手かが無駄手という可能性もあるんですけどね。かつて「飛の手3回」という条件があるのにそれが全部無駄手という問題もありましたし(34-3)。

隅の老人B 「成、不成の付かない手はどちらが指すの？ 8手目、王方、これで解決。」

■ 成不成つかない手を先手が指すと後手が不成を指すハメになって足りませんね。

はらたっと 「両王手の筋が全く見えていない状態で悩んでましたがヒント見た瞬間解けました。」

■ 気づかないと解けないにもかかわらず、それに非常に気づきにくいという難問でした。

S.Kimura 「最初は角だけではだめかと思い、後手55歩などを考えていたのですが、修正が出て分からなくなり、ヒントが出て両王手に気付くまでしばらく悩んでいました。」

■ 後手55歩だとそのまま余詰解の方へ行きますね。

渡辺 「歩が入ると思っていた予想が外れました。最初の4手はほぼ確実なのにその後が難しいのは詰形が想定外だったからか。」

■余詰順は 55 歩だったのでその予想は大当たりです。

平井康雄 「両王手まではわかったが、もう一つの 55 角がナゾでした。3 手目 33 角生が絶妙。この発見でやっと解決しました。それ以上に気になるのが余詰の問題。この条件に合う駒が角以外にあるんでしょうか？（飛？）手順も見当つきません。」

■なるほど、さては 76 歩 34 歩 22 角不成から入りましたね？

占魚亭 「空き王手か両王手のどちらかだろうと予想はついていたのですが、先手に 55 への着手を 3 回指させようとして手こずりました。」

■そうすると角の背後の飛車を打つ手が明らかに足りませんね。

みや 「12 香、22 玉に対して 34 馬と 55 馬で詰めようとしたのですが手数が足りませんでした。」

■12 香 22 玉 55 角で後手の 5 手を使い切りますから、残りを先手が自力でどうにかするのはさすがに困難。

宮谷保可楽 「追加ヒントを得るまでは、玉を 64 に連れてくることまで考えていた。22 に呼ぶと両王手なんだな。」

■私もそれが第一感でした。しかし後手の 55 角が指せなくて成立しないんですよ。

テイエムガンバ 「詰め上がりの形は直感で読めましたが、▲7 六歩～▲5 五角の紛れからなかなか抜け出せませんでした。」

■後手が 55 角不成を指すと玉が 22 まで行く手数が残りません。

鈴木康夫 「ヒントをもらって両王手の詰が見えました。限定するために多数の条件が必要になります。余詰筋も面白い詰上がりですね。」

■鈴木さんは唯一余詰解を併せて答えて下さいました。64 角が面白い 1 手ですよ。

たくぼん 「生と成を先後に分けると非限定が解消できないのがポイントか」

■裏読みするならそこですね。

正解：19 名 双方解：鈴木康雄さん

S.Kimura さん 斧間徳子さん 朱さん 鈴川優希さん 鈴木康夫さん 隅の老人 B さん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん たくぼんさん テイエムガンバさん NAO さん はなさかしろうさん はらたっとさん 平井康雄さん 変寝夢さん 宮谷保可楽さん 妙高仙人さん ron さん 渡辺さん

総評

朱 「推理将棋の棋譜を並べるたび、その整然とした手順に何ともいえない満足感を覚えます。だから解けずに並べるだけで面白いのですが、やはり解けるとまた格別ですネ。」

■おもちゃ箱過去作、詰パラ過去作の他、mixi にもたくさん問題はありますのでぜひいろいろ挑戦してみてください。

はなさかしろう 「55 回、おめでとうございませう。あやかって 5 月 5 日に回答したのですが.....直後に余詰の連絡を頂いて血の気が引きました。この 2 週間は針の筵でしたが、それはそれとして、11553 を 55-3 で紹介していただけたのは望外のことで、本当にありがとうございました。条件付けは悩ましいです。55-3、『55 角があった』『55 角不成があった』『55 角成があった』の 3 条件にすればシンプルでしたが、▲76 歩 △34 歩 ▲22 角不成 △54 歩 ▲55 角不成 △62 銀 ▲11 角不成 △55 歩 ▲同角成—▲56 香—▲33 馬の縦の両王手の紛れと手数+1 条件の抗し難い魅力に引かれてしまいました。▲64 角！ しびれました。」

■「55 角、55 角不成、55 角成が全てあった」という形で 1 条件でいいと思いますけどね。縦の両王手が消えるのは惜しいですが。

変寝夢 「やはり最終形が見えるかどうかでだいぶ違いますね。3 のような作品は、解けた時より解を記入しているときにちょっとした恍惚感

を感じます。」

■やはりヒントは最終形への誘導がいいようですかね。次回以降の参考にさせていただきます。

ron 「二ヶ月ぶりの解答でしたが、今回はなぜかどの問題もあっさりと解けました。こんなに早く解けたのは初めてで、ご機嫌になりました(笑) 惜しむらくは、5月5日に解答を送れなかったことでしょうか。(問題に気づいたのが8日だったので仕方ないのですが)」

■基本的に毎月3日に私が原稿を送って4日に
出題されるので覚えておくといいかも
かもしれません。私の原稿送信が遅れたり
TETSUさんが多忙だったりでずれ込む
ことも時々ありますが。

NAO 「55回の5月出題とあって5筋の手が多い3局、トドメの1手も5筋でした。」

■言われてみれば。ついでに全局55着手があったりしないかと思って見てみたら、私のだけありませんでした。いやあ失敗。

諏訪冬葉 「・5がテーマのせいかな奇数筋の手が圧倒的に多かった(3問で30手中26手) ・影のテーマは私の独断で『攻め方の飛車の横利き』に決定しました。」

■確かに奇数筋多っ！

鈴川優希 「今回も追加ヒントに頼ってしまいました。解図のための時間がなかなか取れないのが悔しいですが、これからも解答していきたいと思えます。」

■解答も問題投稿もお待ちしていますね。

隅の老人B 「五月、ロザリアンのB爺さん、バラを訪ねてあちこちのバラ園へ。その道中、電車の中で推理将棋を考える。あれこれ頭で指して、これでどうだろな。帰宅後、盤上で条件に合わせて再確認。うん、大丈夫、これで合ってる、たぶん正解。」

■今回は暗算で解きにくい問題多めだったかも。

はらたっと 「DD++さんのヒントがツボにはまるとホッとします。3問目は両王手に気がつけばあっという間なんですがね。。」

■ヒントをどこまで出すかは未だに手探りです。

渡辺 「今回は初級中級はすぐでしたが、上級にかなりてこずりました。」

■やはり上級は難問でしたか。

みや 「今回は全問回答できるように頑張ります。」

■全問解答していただけるように頑張ってヒント出させていただきます……でいいのかな？

宮谷保可楽 「今回は「なんとか解けました」レベル。脳みそがクラクラしています…。」

■上級がかなり難問でしたからねえ。

推理将棋第55回出題全解答者： 21名

S.Kimura さん 斧間徳子さん 朱さん 鈴川優希さん 鈴木康夫さん 隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん たくぼんさん テイエムガンバさん NAOさん はなさかしろうさん はらたっとさん 平井康雄さん 変寝夢さん 星の平原さん みやさん 宮谷保可楽さん 妙高仙人さん ronさん 渡辺さん

Fairy TopIX 2011 で、「偶奇性に基づく詰手順の確定～雲海作」という成果に何らかの賞を、と七郎さんから提案があったことはうれしく思います。過去の私の同系統の成果としては、カピタンで発表した「短編ばか詰Ⅱ型合駒問題についての一考察」や、Nifty-Serve の会議室にアップした「駒の入れ換えパズルにおける双解定理の証明」がありますが、鮮やかさにおいては本件が一番でしょうか。しかし、冷静に考えると、これ以前に受賞すべき研究ものに限らない案件が少なくとも 3 件はあると思います。しかしまあ、これら偉大な業績は 2011 年に限った話ではありませんし、今後のフェアリー詰将棋におけるアクティビティの多様化のための推進剤として、このタイミングで常設の功績賞（仮）という形式を準備しておくというのも案外重要かなと思います。そういう意味で、準備年の受賞という捨石になるぜえ、ワイルドだろう、という感じですかねえ。

ちなみに、3 件の 3 人はこういう人たち。

◆神無次郎さん：f mの継続的開発

今さら説明の必要はないでしょう。多彩な検索オプションや途中経過の自動待避など、趣味のプログラムとは思えない柔軟性、堅牢性は他の追随をまったく許しません。

次郎さんがボケてしまったら、私もボケてしまうんだろうなあ。

◆たくぼんさん：フェアリーデータベース

確かに旗は私が振りましたが、このプロジェクトのメイン推進エンジンは間違いなくたくぼんさんです。たくぼんさん自身は単にデータを入力しただけと謙遜するに決まっていますが、たくぼんさん以外にこの馬力を備えた人がいるわけがありません。

◆神無七郎さん：同一作チェック

確かにプログラムは私が書きましたが、照合用の図面情報を著作権の問題を回避しつつ公開エリアに設置できるようにした基本設計こそが肝中の肝であることは言うまでもありません。そしてその設計者が神無七郎さん。詰将棋データベース活用の可能性の範囲を一気に広めた業績は大き過ぎると思います。ただ、使い方のハードルが高いのか、利用者が増加しているとは言いがたいのがちょっと残念ではあります。ガンバレ、ゼンツメレン！

★太郎さんより功績賞の提案を頂きました。フェアリーにも造詣の深かった門脇氏のご逝去の報にも触れ、そういった事も考えるべき時期なのかなあと考えています。

これにつきましては皆さんの意見も拝聴したいと思います。是非とも WFP までメールにてご意見をお寄せください。

【訃報】

平成 24 年 5 月 17 日に脳梗塞により闘病中であった門脇芳雄さんがお亡くなりになりました。門脇氏はフェアリー詰将棋の発展に大きな功績を残されました。1974 年 3 月から 11 月まで詰パラ紙上で「ばか詰教室」を担当、引き続き 1975 年 1 月～1979 年 2 月にかけて「フェアリー詰将棋研究室」の担当もされました。今のように PC 検討出来ない時代ですからさぞかし大変だったと推測されます。私も詰将棋全国大会の時に気さくに声を掛けて頂きお話をすることができました。そのお元気そうな姿しか記憶がありませんので今でも信じられない気持ちです。謹んでお悔やみ申し上げます。

何作か作品も発表されていますが、その内 1 作紹介します。

門脇芳雄作 マキシ詰 11 手
1976/11 詰パラ

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							皇		一
									二
							皇		三
								科	四
						銀	と		五
					ス	ス			六
								王	七
					ス	ス			八
							飛	桂	九

持駒 金3桂

マキシ詰:王手されたとき、可能な防手のうち、駒が最長距離動く手を選ばなければならない。ただし、タテヨコ共 1 マスの長さを 1 とし、駒を打つ手は長さ 1 とする。

是非解いてみてください。解答は P31

フェアリー詰将棋作ったーなる HP があります。

(<http://shindanmaker.com/199181>)

謳い文句は「フェアリー（特殊ルール）詰将棋のお題をどうぞ」診断したい名前を入力すると診断結果として「(こんなルールと手数)の詰将棋を作ってみましょう」と課題を出してくれるものです。結果は日替わりで変わります。私が日記で挑戦したことを書いてからコメント欄や twitter で挑戦した方が何人かいらっしゃいますのでその作品を紹介します。

たくぼんの解図日記コメントより

たくぼんさんは「..禁欲最悪詰（1桁手数）」を作ってみましょう。

①たくぼん作 2012/6/3

禁欲最悪詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
							金		五
							銀		六
						銀	王	銀	七
						ス	馬		八
									九

持駒なし

accelerationさんは「.安南取禁協力詰（1桁手数）」を作ってみましょう。

②accelerationさん作 2012/6/3

安南取禁協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
							王		五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛香

北村太路さんは「安北協力詰（5手詰以内）」を作ってみましょう。

③北村太路さん作 2012/6/4

安北協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
							飛		三
						香	桂		四
									五
									六
						王			七
									八
								金	九

持駒なし

2012/6/4

accelerationさんは「.対面.協力自王詰（5手詰以内）」を作ってみましょう。

④accelerationさん作

対面協力自王詰 5手（受先）

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
							王		四
									五
									六
									七
									八
								王	九

持駒 歩2

accelerationさん

「作ってみた。」

一乗谷酔象さんは「..成禁協カスティルメイト（1桁手数）」をつくってみましょう。

⑤一乗谷酔象さん作 2012/6/8

成禁協カスティルメイト（非王手可）7手詰

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	科				角				一
	角		丕	銀				皇	二
皇	科		科		科			科	三
科		科							四
王								科 飛	五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
								飛	八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 金銀歩3

一乗谷酔象さん

「▲76歩△62玉 ▲33角生△74歩 ▲22角生△73玉 ▲32角△84玉 ▲13角生△95玉 ▲31角生△24歩 ▲52銀△25歩 ▲53角生△12香 ▲71角生△62金 ▲82角生△13桂 ▲15飛△94歩 ▲41角生△93香」迄指した局面」

twitter より

acceleration さんは「.背面.協カスティルメイト.」を作ってみましょう。

⑥acceleration さん作 2012/6/5

背面協カスティルメイト 5手
受方：持駒なし

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
王	角	銀							九

持駒 歩

acceleration さん

「ルール不慣れなので自信なし。」

acceleration さんは「.安北強欲協カスティルメイト.」を作ってみましょう。

⑦acceleration さん作 2012/6/7

安北強欲協カスティルメイト 5手

受方：持駒なし

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
							飛		六
									七
				歩				科	八
				王				王	九

持駒 飛

acceleration さん

「作ってみた。ちょっと苦しい。受方持駒なし、5手詰。強欲とSTMは相性悪い感じ。」

☆

2012/6/9

DD++さんは「マドラシ背面強欲協カ自王詰(1桁手数)」を作ってみましょう。

無理でした(笑)マドラシ背面って同種駒が片方だけ利いてる時どうなるんだか……

★共に利いていないと石化しないようです。なかなか難しい課題で誰か挑戦してみてください。

全ての作品の解答はP31に掲載しています。

解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

7月15日(金)

第42回 WFP 作品展(Bコース)

フェアリー作品 1作
推理将棋 2作

7月29日(日)

JIGSAW BOX #07

フェアリー作品 2作

8月15日(金)

第43回 WFP 作品展(Bコース)

フェアリー作品 7作
推理将棋 2作

作品募集締切一覧

(再掲)

Fairy of the Forest #32課題発表

- 2012年05月20日：課題発表：(協力詰) 合利かずの詰上り(両王手を除く)
- 2012年07月15日：投稿締切
- 2012年07月20日：出題
- 2012年08月15日：解答締切
- 2012年08月20日：結果発表

■ 課題発表

31-13の最終形をヒントに、「合利かずの詰上り」とします。協力詰には「無駄合」はないので、文字通り「合駒ができない」状態で詰むこととなります。

ただし、「両王手」は意味合いが違ってくるので、除くことにします。

前回のような盛況を期待しています。

(投稿先)

→酒井博久(sakai8kyuu@hotmail.com)

第13回詰四会フェアリー作品展

課題：合駒をちょっと読まされる作品

締切：平成24年8月26日(日)

投稿先：たくぼん takuji@dokidoki.ne.jp

フェアリー詰将棋作った一解答

- ① 37銀 19玉 28銀 同玉 27金 19玉 28銀 迄 7手
- ② 35飛 25桂 19香 26玉 36飛 迄 5手
- ③ 28桂 38玉 37金 29玉 27飛成 迄 5手
- ④ 17桂 26歩 同玉 18歩 同桂生 迄 5手
- ⑤ 43銀生 73金 63角生 84金 74角生 73桂 同角生 迄 7手
- ⑥ 98角 11玉 12歩 13角生 21角成 迄 5手
- ⑦ 67飛 28桂生 16飛 27玉 48王 迄 5手

門協作マキシ詰解答

27飛 同香生 29桂 同香成 28金 同香成 26銀 同桂 18金 同桂成 16金 まで 11手

【あとがき】

平成24年度の詰将棋全国大会が7月15日に長野県で開催されます。フェアリストが多い地区ですので是非とも参加したかったのですが、今のところ欠席濃厚です。参加された方は是非フェアリスト向けの大会参加記をWFPまで送って頂きたいと思います。よろしくお願ひします。

たくぼん

2012年 第48号

Web Fairy Paradise

非売品

平成二十四年六月号

平成二十四年六月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市

発行兼編集人 須川卓二

発行所 Web Fairy Paradise 編集部

問合先 takuji@dokidoki.ne.jp